

令和7年度第1回伊勢市子ども家庭支援ネットワーク委員会議 議事録

日 時 令和7年6月5日(木) 午後1時30分～

場 所 伊勢市健康福祉ステーション7階 会議室1・多目的ルーム

出席委員 前田(晃)委員、竹澤委員、奥田委員、長瀬委員、久保田委員、秋山委員
加藤(眞)委員、鎌田委員、田口委員、前田(弓)委員、福岡委員、岡村委員
上田委員、宮城委員、城委員、濱地委員、西川委員、奥野委員、村井(麻)委員
木下委員、村井(紀)委員

欠席委員 仲地委員、内田委員、加藤(泰)委員

事務局 健康福祉部理事、参事、福祉総合支援センター主幹、こども家庭相談係長
ほか4名

議 題 議案第1号 伊勢市子ども家庭支援ネットワーク令和6年度活動実績について
議案第2号 伊勢市子ども家庭支援ネットワーク令和7年度活動計画(案)につ
いて
その他

1 はじめに

【事務局】

開催挨拶、欠席委員報告(会議成立の報告)、異動委員の紹介、委員自己紹介、事務局職員紹介

2 報告・協議事項

議案第1号 伊勢市子ども家庭支援ネットワーク 令和6年度活動実績について

【事務局】

議案第1号について説明

【委員からの主な意見】

- ・DVについては虐待の連鎖があり、どこかで止めないと強く感じる。

議案第2号 伊勢市子ども家庭支援ネットワーク 令和7年度活動計画(案)について

【事務局】

議案第2号について報告

その他

【南勢志摩童相談所】

事務事業概要について説明・報告

- ・児童福祉法の改正における意見聴取等措置について取り組みが難しかったが、裁判所へ一時保護状を請求する際は、子どもの意見が重要な要素となるため、しっかりと進めていく。
- ・子どもを中心に置いた子どもの権利擁護を大事にした対応をしていく。
- ・虐待死を起こさせないという覚悟で対応にあたっていく。

【委員からの主な意見】

- ・市や児相に対して保護者は「ちゃんとできる」という傾向があるので、しっかりと対応しないと子どもは救われない。
- ・子どもの意見を聴くことは重要であるが、子どもは意見を言えないように育てている。アドボケイトを一層進めていく必要がある。

【事務局】

児童育成支援拠点「あいちゃんち」について説明